

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
♪ジョイコン NEWS♪  
第64号(2024年4月)  
★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

前回の「♪ジョイコン NEWS♪」で、2024年度のコンサートスケジュールについてお知らせいたしました。  
このたび、全6回の日程や出演者名等を一覧にしたpdfファイル(A4一枚)をジョイコンのWebサイト(<https://www.ohkurayama-joycon.com/>)に載せましたのでご利用ください。

それでは、「♪ジョイコン NEWS♪」(第64号)をお届け致します。

\*\*\*\*\*  
【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
  - ◆第68回コンサート
- 【2】今後の予定(先取り情報)
  - ◆第69回コンサート
- 【3】失われた楽器「アルペジオーネ」
- 【4】コンサートのアンケートから

\*\*\*\*\*  
【1】次回コンサートのご案内(予約受付中)

- ★☆☆第68回コンサート☆☆☆  
◇2024年5月19日(日曜日) 14時開演  
◇出演:毛利文香(ヴァイオリン)、門脇大樹(チェロ)、兼重稔宏(ピアノ)  
◇プログラム(予定)
  - ◆シューベルト:アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D 821
  - ◆シューベルト:ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 ハ長調 D 934
  - ◆シューベルト:ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 D 898  
◇料金:大人2,000円、高校生以下1,000円  
◇会場:横浜市港北公会堂(東急東横線 大倉山駅より徒歩7分)

第68回ジョイフルコンサートは、『夭逝の天才 フランツ・シューベルトに捧ぐ』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*  
毛利文香さんからメッセージが届いています  
\*\*\*\*\*  
シューベルトの音楽の美しさを存分に堪能していただきたいというシンプルな思いから生まれた今回のプログラム。

経験豊富でありながら、常に新鮮な気持ちで作品と向き合う共演者のお二人と、じっくりと音楽作りをできることがとても楽しみです。  
皆様のご来場を心よりお待ちしております!(毛利文香)

\*\*\*\*\*  
だいぶ日差しに春を感じるようになってきました。  
5月はきっと暑くなっているでしょう。  
今回のジョイフルコンサートは演奏者の方の熱い気持ちを感じられるシューベルトの大曲のプログラムです。

●シューベルト  
シューベルトはオーストリアの作曲家です。  
31歳の短い生涯でしたが、歌曲だけでも600曲、全体で約800曲の曲を作りました。

死後発見された曲も多く、実力を十分に世にアピールできなかったかもしれません。  
経済的にもあまり恵まれず、不遇の印象が強いです。  
シューベルトの仕事部屋には未発表の作品がたくさんあったそうです。

亡くなってから 10 年以上経っていましたが、シューマンがシューベルトの兄の家を訪ねます。  
兄のフェルディナントはシューベルトの書斎をそのまま残していました。  
その時シューマンが机の上にほこりまみれになっていた『交響曲第 8 番 (ザ・グレート)』の楽譜を見つけたそうです。

その後にもさらに交響曲やピアノソナタの楽譜が見つかり、発表されていきます。

死後に大きく評価された作曲家の代表になってしまっているようで、気の毒な気がしてしまいます。

#### ● ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 ハ長調 D 934

実はシューベルトの作品は他の作曲家の作品のように OP. から始まっていないことが不思議でした。

シューベルトの曲はオーストリアの音楽学者オットー・エーリッヒ・ドイチュによって作られた英語の作品目録のドイチュ番号によって、整理されています。ドイチュ番号は (D) から始まります。

未完成だったり、未発表だったりシューベルトの曲は整理するのがとても難しかったと想像できます。

『ヴァイオリンとピアノのための幻想曲』はシューベルトが晩年に書き上げた曲です。初演はパガニーニから称賛されたボヘミア出身のヴァイオリンテクニクを持つスラヴィークとピアニストのポックレトによって演奏されました。

卓越したテクニクを持つ演奏者を想定して作られた曲のため、大変高度なテクニクを必要とする最難関の曲のひとつとされています。

初演は長過ぎるために、当時のウィーンの聴衆も評論家も耐えられず席を立ってしまったそうです。  
残念ですが、この時の曲の評価は散々なものになってしまいました。

現在ではシューベルトの傑作作品の一つと高く評価されています。

演奏をお聴きするのが楽しみです。(A.N)

#### ■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080 - 8424 - 5108

\*\*\*\*\*

#### 【2】今後の予定 (先取り情報)

##### ★★第 69 回コンサート★★

◇ 2024 年 7 月 21 日 (日)

◇ 出演：佐藤杏樹 (ハーブ)、吉田杏奈 (フルート)、金井清 (クラリネット)、犬嶋仁美 (ヴァイオリン)、石坂淑恵 (ヴァイオリン)、宮武佑果 (ヴィオラ)、松浦健太郎 (チェロ)

##### ◇ プログラム

◆ ラヴェル：独奏ハーブとフルート、クラリネット、弦楽四重奏のための「序奏とアレグロ」

◆ ドビュッシー：独奏ハーブと弦楽四重奏のための「神聖な舞曲と世俗的な舞曲」

◆ 黛敏郎：六段

◆ ピアソラ：カフェ 1930、ナイトクラブ 1960 (フルート & ハーブ)

◆ ハチャトウリアン：ハーブのための東洋風舞曲

ほか

◇ 予約受付開始：2024 年 5 月 20 日 (月曜日) 午前 9 時より

★ プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

\*\*\*\*\*

### 【3】失われた楽器「アルペジョーネ」

次回プログラムでは、「アルペジョーネ・ソナタ イ短調 D 821」が演奏されます。

曲名の「アルペジョーネ」は楽器の名前です。

1823年から1824年にかけて、ギター製造者のヨハン・ゲオルク・シュタウファーが発明したもので、主にウィーンを中心に流行した楽器でした。  
チェロに似た形で、弦が6本ありギターのようにフレットがついています。  
弓で弾くこともできますが、ギターのように指で弾くことも可能でした。

しかし、この楽器はすぐに人気がなくなり、19世紀半ばには見られなくなりました。  
なぜ廃れてしまったのか、はっきりとした答えはないようです。

- チェロやギターと比べて、音色や音量が劣っていた
  - 発明されたばかりの楽器であり、演奏法や教則本が確立されていなかった
  - シューベルトのソナタ以外に、有名な作品がほとんどなかった
- など、音楽的な問題や社会的な問題など、複合的な要因が関係していたようです。

シューベルト（1797-1828）はこのソナタを生涯の終わりに近い1824年に作曲しています。

シューベルトの友人で、アルペジョーネ奏者のヴィンツェンツ・シュスターの依頼でこのソナタを書いたともいわれています。

（楽譜が出版されたのはシューベルトの没後40余年も経った1871年でした）

このころ、代表的な弦楽四重奏曲第14番《死と乙女》も作曲しています。

この時期のシューベルトは、梅毒の進行や抑鬱症の発作に苦しみ、死の予感にとらわれていました。

このソナタは、そのような彼の心情を反映しているとも言われており、実際聴いてみると優美で感傷的な旋律が印象的です。

シューベルトのソナタだけが唯一広く知られている作品ですが、チェロやヴィオラなどの他の楽器に編曲して演奏されることが多いです。

アルペジョーネの復元楽器を使って演奏する試みもあるようですが、奏者がいないためほとんど実演は行われていないそうです。

チェロ版やヴィオラ版はCDやネットなどでも聴くことができるようです。

アルペジョーネは、失われた楽器とか幻の楽器と呼ばれることもあります。

当日、アルペジョーネの代わりにチェロで演奏されると予想されますが、どんな演奏を聴かせてくれるか楽しみです。

どうぞご期待ください。（でくのぼう）

\*\*\*\*\*

### 【4】コンサートのアンケートから

前回のジョイフルコンサート（3月17日公演）『藤原晶世×開原由紀乃×藤原秀章～アンサンブルで彩る春の訪れ』は如何でしたか？

「Web アンケート」には、演奏のご感想や運営について、今後のご希望など貴重かつ熱心なコメントを頂きました。今回もその一部をご紹介します。

アンケートでの質問「今回のコンサート内容はいかがでしたか？（5段階評価）」では、「大変良かった」71%、「良かった」29%で、これらの合計で100%と大変好評でした。

自由記入欄の「演奏のご感想」では、

『素晴らしい演奏でありました。伸びやかな音色、繊細かつ優美、時に激しく、若々しい演奏は、本場ドイツで活躍するトリオでした』『素晴らしい演奏に、最後のラベルが終わった際には感動して涙が出てしまいました』『休憩後のラヴェルピアノ三重奏曲イ短調良かったです！ヴァイオリンものびやかに変わったように感じたのは勝手な感想。でもメンデルスゾーンの春の歌で、チェロが心地よく美しかった』『色々な“春”の演奏で素敵な楽しい時間でした』などのご感想が寄せられました。

また、『今回初めて生演奏を聴くことが出来、嬉しいです』との書き込みもありました。

「運営について」では、  
『施設こそ古いですが、スタッフのみなさんも親切丁寧で、アットホームで気持ちの良い素晴らしいコンサートでした』『近隣で手軽に楽しめるコンサートはとても嬉しいですね』『スタッフの方で手作りで運営されていて、魅力的な演奏会を聴くことができ、とても有意義な休日を過ごすことができました』『毎回、若手を応援したいというみなさんボランティアの方々のご努力が実っていると感謝し感動しています』などのコメントが寄せられました。

頂いたご意見やご提案も参考にしながら、引き続き運営の改善をして参ります。  
アンケート回収数:28 (回収率 14%)

\*\*\*\*\*

#### 【編集後記】

3月のジョイフルコンサートの演奏者の3人の方は今ドイツで生活をなさっています。コンサート終了後いろいろお話しくださいました。日本では音楽で生計を立てるのは難しいそうです。確かドイツは学費が無料と聞いたことを思い出しました。「最悪の場合でも、教育は保障されるでしょ。その代わり衣食住は質素よ！」と以前習っていたピアノの先生の話です。現実を振り返るとすべての物の値上がりが激しくて、毎日大変ですよ。素敵な音楽で心が豊かになりますように！（A.N）

\*\*\*\*\*

※このメールマガジンは、大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

#### ■ 次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
予約専用電話：080-8424-5108

#### ■ バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら  
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■ 配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら  
<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会  
Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>  
携帯電話 080-8424-5108  
URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>